

J A秋田なまはげ5周年

これからも地域農業の発展を目指して



平成30年4月1日に誕生したJA秋田なまはげが、このたび5周年を迎えました。農業や地域社会の情勢が厳しいなか、組合員・地域の皆様に支えられ、管内農業の発展のために歩んできた5年間。今後も皆様の身近な存在であり続け、かつ農業を身近に感じていただけるように、役職員一同が力を尽くしてまいります。JA秋田なまはげを、これからもよろしく願いいたします。

当JAの5周年を迎えて

代表理事組合長 佐藤 広美



平素は当JAへ特段のご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。このたび、当JAは発足から5周年を迎えることができ、これもひとえに組合員や利用者、農業関係機関などの皆様のご協力によるものであり、深く感謝しております。

当JAの発足当初は、少子高齢化にともなう生産者の減少や耕作放棄地の増加、米価の下落などのほか、政府の規制改革推進会議からの農協改革の提言やTPPなど、JAや農業をめぐる課題が多くありました。加えて、新型コロナウイルスの流行やロシアによるウクライナ侵攻などがこの5年間に起こり、社会は当JAの発足当初には想像もつかなかった状況に陥っ

ています。管内の人口減少や米の需要減退などは収束の兆しが見えず、生産資材価格の高騰や物価高による消費活動の減退など、農業現場を悩ませる問題は山積みの状態です。

しかし、組合員や利用者の皆様と力を合わせて地域農業の振興に励み、活力あるJA・地域の創出を目指す当JAの姿勢は、これからも変わりありません。役職員が一丸となって持続可能な総合サービスを展開し、農業所得の向上や地域の活性化を実現して、皆様に選ばれるJAであり続けられるよう努めてまいります。今後も当JAや管内農業にお力添えいただきますよう、お願い申し上げます。